

第20回 鹿児島県障害者スポーツ大会

《陸上競技 競技規則》

本大会は日本陸上競技連盟競技規則・全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会企画委員会の申し合わせ事項により実施する。

1 ルール

- (1) 身体障害者、知的障害者共にスパイクのピンの長さは9mm以下。ただし、ジャベリックスローについては12mm以下とする。
- (2) 50m走は全てスタンディングスタートとする。スターティングブロックの使用は禁止とする。

2 招集について

- (1) 選手の招集場所は第4ゲート入口(200mスタート地点)バックスタンド側通路に設ける。
- (2) 各種目とも競技開始40分前から招集を開始し20分前を招集完了とする。
- (3) 競技開始20分前の招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。

3 競技方法

(1) トラック競技

- ア. トラック競技の走路順(レーン)、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- イ. スタートコールはイングリッシュコールとする。
- ウ. スタートは1回制とし、一度の不正スタートでもその責任を有す。競技者は失格となる。
- エ. 車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技しなければならない。
- オ. 音響50m走では、選手の指導者等を音響誘導者として選出できる。
- カ. インターフェアー
 - ① 故意に他の競技者を妨害した場合はその競技者は失格とする。
 - ② 50m・100m・200m・400mはセパレートレーンとし、競技者が大きくコースをはずれ、他の競技者の妨害となる行為は失格とする。但し、他の競技者への妨害的行為が認められず、競技者が有利にならない場合は審判長救済とする。(知障)
 - ③ 直線で他のレーンに侵入し、そのレーンの選手に影響がない場合は審判長救済とする。(知障)
 - ④ 800m, 1500mはオープンレーンとする。
 - ⑤ 車いす競技の100m・200m・800m・1500m競走は日常用車いすと競技用車いすに分けて行う

(2) フィールド競技

ア. 立幅跳

- ① 両足同時に踏切るものとする。
- ② 跳躍距離は、身体の一部(腕、手を含む)が接地した最短距離を踏み切り線から計測する。
- ③ 試技は3回とし、声、音源による援助及び応援などはしてはならない。プログラム順に跳び、最長距離で勝敗を決める。

イ. 走幅跳

- ① 跳躍距離は、身体の一部(腕、手を含む)が接地した最短距離を踏み切り線から計測する。
- ② 試技は3回とし、プログラム順に跳び、最長距離で勝敗を決める。
- ③ 視覚障害者(障害区分24, 25)の踏切板の幅は長さ1mとする。計測は、着地点と踏切地点の延長線との最短距離で行う。ただし、踏切板(地域)の手前で踏み切った場合は、着地点と踏切板(地域)の砂場より最も遠い方までの最短距離を計測する。

ウ. 投てき

- ① 砲丸投以外の投てき競技は3連投で行う。但し、審判長の判断により各組1投ずつ順に投げる場合もある。
- ② ソフトボールは3号球を使用し、投球フォームは自由とする。
- ③ 競技開始前に練習時間を設け、1人連続で2回練習する。
- ④ ジャベリックスローはやり投の規則に準じて行う。
- ⑤ 投てきに使用する用具は主催者が用意したものとする。
- ⑥ 車いす使用者については、助走することなく、試技開始から終了まで臀部がシートから離れていない状態で投げなければならない。そのために、補助員などが車いすを支持してもよい。

JAAF(日本陸連) 競技規則
第193条 やり投

- ・やりは片手で握り部分を握る。
- ・やりは肩または投げる方の腕の上で投げなければならない。
- ・振りまわして投げてはならない。

4 その他

- (1) 視覚障害者(障害区分24, 25)の種目については、必要に応じて競技役員又は、競技補助員が方向を指示する。
- (2) 出場者が少ない競技種目では、他の障害区分や年齢区分の選手と一緒に、また、男女一緒に競技を行うことがある。この場合、記録、順位の設定は障害区分別、年齢区分別、男女別に行う。